

記録改ざん、瀬尾容疑者

執刀医にも指示

涙流して
断られる

東京女子医科大学病院の

心臓手術ミスで平柳明香さん(当時12)が死亡した事故で、医師の瀬尾和宏容疑者(46)が手術の執刀医に人工心肺記録内容の改ざんを指示し、拒否されたことが警視庁の調べでわかった。この場には手術チームのほかのメンバーも同席していた。臨床工学技士(31)は、

証拠隠滅容疑で書類送検Ⅱが改ざんを実行した。

牛込署捜査本部の調べや関係者の話によると、瀬尾医師は、明香さんが死亡した3日後の昨年3月8日、医師の佐藤一樹容疑者(38)が業務上過失致死容疑で逮捕Ⅱや看護師長(54)が証拠隠滅容疑で書類送検Ⅱ、執刀医ら

手術チームを集めた。瀬尾医師は手術チームに人工心肺記録の改ざんなどを指示したが、執刀医は涙ぐみながら断ったという。人工心肺記録については技士が新たに書き直す形で内容を改ざんしたとされる。

瀬尾医師は動機について「スタッフをかほいたかった。病院内に『ミスは隠すもの』という雰囲気があった」などと供述している。

女子医大小児心臓手術事故

改竄医師個人

2002年7月2日 朝日新聞